授業科目	養護実習事前事後指導(2022 年度入学生)					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	3～4	開講時期	三期
担当教員	西丸　月美、杉谷　修一、増本　由紀子						
授業概要	養護実習に臨むための準備を整え心構えをするとともに、実習後の整理を追求的におこなう機会となることを意図している。実習前は実習校での学校教育活動と学校経営・運営に参与するにあたって必要となる知識及び技術を身につけることを目指す。実習後は体験を通して修得した事項や課題について学生相互に意見交換させることにより、養護教諭としての資質や執務内容の向上を図ることを期待する。						
授業形態	講義・演習				授業方法	グループワーク・ディスカッション・プレゼンテーション	

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1．養護実習に臨む上で必要な知識及び技術を習得できる。 2．学校教育の現場で実習する上で、留意すべき事項を理解し、必要な準備を行うことができる。 3．養護実習を通して体験した事項や課題について学生相互間で意見交換を行い、発表することができる。 4．養護実習を通して修得した事項や課題を整理することができる。 養護実習に臨むための準備を整えるとともに、実習後の整理を追求的におこなうことで養護実習の効果を高めるのを目標にしているので、行動目標が全てできることを標準的なレベルとする。
理想的レベル	標準的なレベルの全てを達成した上で、事前の準備や事後の演習等に積極的に取り組み、その成果を客観的に示すことができること。さらに、演習や実習校との打ち合わせにおいて養護教諭としての資質を高めることができている。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト	20%	
レポート	30%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	
レポート外の提出物		
その他	20%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE34113J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
実習オリエンテーション時の文書を整理・確認し、実習に備える。	1

授業計画

第 1 回	オリエンテーション 1 テーマ：養護実習に臨むための準備（西丸、杉谷、増本） 養護実習のシステムについて解説する。 実習に臨む上での心構えについて解説する。

第 2 回	テーマ：人権教育（外部講師、西丸、杉谷、増本） 学校における人権教育について、理念、歴史、進め方について、解説する。
第 3 回	テーマ：実習に向けて（外部講師、西丸、杉谷、増本） 現職養護教諭の経験に基づいた実習の概要について学ぶ。
第 4 回	オリエンテーション２ テーマ：養護実習に臨むための準備（西丸、杉谷、増本） 実習校との打ち合わせ・事前準備について解説する。 講義概要・進行について解説する。
第 5 回	テーマ：健康診断①（西丸） 健康診断の実施計画及び実施方法、事後措置について演習を行う。
第 6 回	テーマ：健康診断②（西丸） 健康診断の実施計画及び実施方法について、グループで討議する。
第 7 回	テーマ：保健室経営①（西丸） 各自が作成した保健室経営計画についてグループで討議し、意見を交換する。
第 8 回	テーマ：保健室経営②（西丸） 各自が作成した保健室経営計画についてグループで討議し、意見を交換する。
第 9 回	テーマ：保健教育における啓発活動（西丸・杉谷・増本） 保健だよりを作成しグループで討議し、意見を交換する。
第 10 回	テーマ：特別支援教育における養護教諭の役割（増本・西丸） 特別支援教育における養護教諭の役割について学ぶ。
第 11 回	テーマ：今までの学修を振り、確認試験を行う。 中間試験（西丸）
第 12 回	テーマ：実習に向けて（西丸、杉谷、増本） 実習が終了した 4 年生の養護実習での経験を通して、養護実習の具体的な内容について学ぶ。
第 13 回	テーマ：実習後カンファレンス（杉谷・西丸・増本） 実習後の振り返りとして、学生間で実習中の課題についてカンファレンスを行う。
第 14 回	テーマ：実習後カンファレンス（杉谷・西丸・増本） 実習後の振り返りとして、学生間で実習中の課題についてカンファレンスを行う。

第 15 回	テーマ：実習のまとめ（杉谷、西丸・増本） 実習のまとめとして、実習成果発表を行う。
テキスト	「学校における養護活動の展開」最新版　津島ひろ江他編著　　ふくろう出版 「新訂版　学校保健実務必携」　学校保健・安全実務研究会編著　第一法規
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「養護実習ハンドブック　改訂 養護教諭必携シリーズＮＯ．４ 」　大谷尚子(編者),中桐佐智子(編者)　東山書房 文部科学省ホームページ 日本学校保健会ホームページ 学校保健ポータルサイト 教材：必要に応じて資料を配布する。
課題に対するフィードバックの方法	.レポート内容及び課題提出等については、授業の中で指示する その他の評価については、実習報告会・授業への貢献度等で評価する。
学生へのメッセージ・コメント	子どもの健康問題、救急処置、学校組織、教育、いじめ、学習指導要領などの幅広い知識や技術が求められます。これまで履修したことの総括をしておくことと、養護実習校の地域理解を深める必要があります。 この科目は、養護実習に参与するにあたって必要となる実践的な知識や技術を学ぶものです。これまで履修してきた科目の復習をするとともに、さらに実践力を修得できるよう予習をして授業に臨んで下さい。また、できるだけ子どもにかかわるボランティアなどの体験をすることを勧めます。